



## 年末調整が近づいてきました

年末調整とは？

毎月の給料から差し引かれている所得税と年間の給与総額に基づく所得税にはズレが生じます。  
このズレを還付又は徴収して精算することをいいます。

12月の給与支給時に還付または徴収されます。

各保険会社の証明書類はお揃いでしょうか？

ご自身のための年末調整です。申告が確実に行えるよう、不明な点や契約内容の変更・家族の扶養状況等に異動がある場合には、事前に事務職員に相談しましょう。

## ここがポイント



### ※令和元年分 配偶者控除等申告書

- ◎ 配偶者控除を受ける方は全員提出が必要です。  
配偶者の今年中の給与見込額を確認してください。  
所得がない場合も提出が必要になります。

### ※令和元年分 保険料控除申告書

- ◎ 扶養親族（大学生など）の国民年金保険料を納めた場合は社会保険料控除が受けられます。
- ◎ 任意継続掛金も申告できます。
- ◎ 本年中に支払ったものであれば対象になります。ただし、支払った旨の証明書類の添付が必要です！
- ◎ まとめて支払い（年度一括払い）された場合は前納した期間が 1 年以内であれば、本年分の対象になります。

### ※平成 31 年（2019 年）分 扶養控除等申告書

- ◎ 一人の扶養親族を他の所得者と重複して申告していませんか？
- ◎ 配偶者や扶養親族の合計所得金額に誤りはないですか？
- ◎ 特定扶養親族・老人扶養親族・同居老親等該当者はチェックをつけたか？

令和元年（平成 31 年）分は、昨年分と変更点はありません。  
令和 2 年分から「扶養控除等（異動）申告書」に単身児童扶養者（未婚のひとり親）の欄が追加になります。

#### ●源泉控除対象配偶者：

配偶者の収入が 150 万円までの場合は該当。  
配偶者控除・配偶者特別控除が受けられます。

#### ●配偶者特別控除：

配偶者の給与収入が 103 万円超～201 万 6 千円未満の場合、収入額により段階的に控除が受けられます。

#### 扶養親族の

##### ※年齢要件は…

- ・控除対象：16 歳以上（H16.1.1 以前生まれ）
- ・特定扶養親族（H9.1.2～H13.1.1 生まれ）
- ・老人扶養親族（S25.1.1 以前生まれ）

##### ※所得要件は…

##### ・給与のみの場合

収入金額 150 万円以下（配偶者に限る）

〃 103 万円以下（配偶者以外）

##### ・公的年金等のみの場合

年齢 65 歳未満 収入金額 108 万円以下

年齢 65 歳以上 収入金額 158 万円以下

※C,障害者の欄：16 歳未満の扶養親族も対象になります。



## では、年末調整の準備・確認をしましょう

### ① まず、お渡しした資料を確認ください

- ◎ 平成 31 年分給与所得者の扶養控除（異動）申告書
- ◎ 平成 30 年分保険料控除申告書（参考のため）
- ◎ 平成 30 年分給与所得者の配偶者控除申告書（参考のため）
- ◎ 令和元年分給与所得者の保険料控除申告書
- ◎ 令和元年分給与所得者の配偶者控除申告書
- ◎ 保険料控除証明書（学校に届いた分） ※ご自宅に届いている分もご確認ください



## ② 扶養控除等（異動）申告書を確認・記入しましょう

平成 31 年分に変更はありますか？

今年 1 月以降、出生・結婚・就職  
等により異動ありませんか？

ある → 変更箇所を記入しましょう。

ない → そのままお返ください。

（但し、1/1 迄に変更予定のある方は、その後に記入）

## ③ 配偶者控除申告書を記入しましょう

控除の対象となる配偶者はいますか？

控除を受ける方は提出が必要です。

いる → 区分Ⅰ、Ⅱに注意し、裏面を参考に記入します。

※1 月～11 月の給与明細書写しと 12 月の見込額  
又は今年中の給与総額（見込額）がわかるもの  
を添付してください。

いない → 記入・提出の必要はありません。

## ④ 保険料控除申告書を記入しましょう

※支払（加入）のない方は記入の必要はありません！

証明書をよく見て記入しましょう（割戻金等は差し引いてください）

保険料控除証明書は  
裏面に貼って下さい！

生命  
保険

\* 新保険料（H24. 1. 1 以降の契約）

A 欄に証明書合計金額を記入 → 計算式Ⅰで控除額を算出し①に記入

\* 旧保険料（H23. 12. 31 以前の契約）

B 欄に証明書合計金額を記入 → 計算式Ⅱで控除額を算出し②に記入

※最高控除額に注意し  
③、④を記入します

介護  
医療

C 欄に証明書合計金額を記入 → 計算式Ⅰで控除額を算出し⑤に記入

個人  
年金

\* 新保険料（H24. 1. 1 以降の契約）

D 欄に証明書合計金額を記入 → 計算式Ⅰで控除額を算出し④に記入

\* 旧保険料（H23. 12. 31 以前の契約）

E 欄に証明書合計金額を記入 → 計算式Ⅱで控除額を算出し⑤に記入

※最高控除額に注意し  
⑥、⑦を記入します  
※生命保険料控除額計  
も忘れずに記入します

地震  
保険

区分に注意！

地震は B 欄、旧長期は C 欄に記入 → 控除額を計算し、記入します

社会  
保険

国民年金保険料・国民健康保険料等を支払っている

→ 右下側に記入します

※支払いを証明する書類を添付ください

掛金  
控除  
企業  
共済

証明書合計額を記入

## ⑤ 住所・氏名（フリガナも）を記入し、押印の上 事務職員に提出してください

参考のためにお渡ししてある前年分の申告書も一緒に提出ください。

【 提出締切 11 月 日 です 】



- 住宅控除のある方は、各自計算式に従ってご記入の上、提出下さい。（残高証明書添付）
- 新規採用職員で平成 31 年 1 月から 3 月中に収入のある方・期限付き職員で県費以外の  
前職のある方は、源泉徴収票等の提出をお願いします。
- 保険料控除証明書が今年中に届かない場合は、確定申告になります。